

体感するモンゴル現代史

萩原 守著・四六判四二四頁

◎定価三三六〇円(本体三二〇〇円)

現代モンゴルの体験的解読

一九八〇年代のソ連型社会主義時代から、九〇年代の資本主義への変革・混乱期を体感し、二十一世紀に起こりつつある喫緊の課題を展望する。

「はじめにより抜粋」私は本来、清代モンゴルの法制史が専門なので、ふだんは「自身では全く体感したことのない歴史」ばかりを講義・叙述している。タイムマシンでもない限りそれは仕方のないことではあるが、「歴史家は、見てきたような嘘を言い」と揶揄されることも多い。そこで、ふだんの罪滅ぼしというわけでもないが、せめて自分で体感することの可能な現代のことぐらひは、自分の目で見、耳で聞いたことだけを書こうということにしたのである。その結果必然的に、大所高所に立った政治史などではなくて、一般庶民の日常生活にまで問題関心のレベルを引き下げた現代史となった。

- 【目次より】
- (I) モンゴル民族史の流れ
チンギスハーンとモンゴル民族／モンゴル史の時代区分
アメとムチの清朝支配／独立への条件
追いつめられるモンゴル人と独立への道すじ
独立の挫折とモンゴル革命／革命後の外モンゴル
内蒙古自治区への道のり／戦後の外モンゴル
 - (II) 留学体験記 (社会主義時代の記録)
平均気温は氷点下／勇敢で誇り高く、寛大ではあるが頑固で…
冬は肉と脂で乗り切る／ウランバートル点描
モンゴルに暮らす人たち／大学生生活／多民族学生寮
寮生活奮闘記／ミシク先生の授業／留学期間中の旅行
 - (III) 資本主義化直後のモンゴル国
大混乱期のモンゴル再訪
ハイパーインフレと劣化するウランバートル経済
悪化する治安／古文書調査体験記
 - (IV) 草原でのフィールドワーク
フィールドワークの自由化／西部モンゴルの民族・遺跡調査
南シベリアと北西部モンゴルの民族・遺跡調査
バイカル湖周辺、およびモンゴル国東部の民族・遺跡調査
中国内蒙古、赤峰市地区の民族・遺跡調査
中国内蒙古、フルンボイル盟の民族・遺跡調査
 - (V) 21世紀のモンゴル国とウランバートル
21世紀の政治状況／第8回国際モンゴル学者大会
2005年のウランバートル訪問／レンデンドルジの来日
第9回国際モンゴル学者大会
2007年のウランバートル訪問
 - (VI) 現代モンゴルの環境問題
自然環境に溶け込んで暮らす狩猟民、遊牧民
内モンゴルにおける草原の砂漠化と水資源の無駄使い
砂漠化の原因／植林の危険性
「退牧還草」「生態移民」政策と中国の食糧問題
中国国内での「地上げ」と「土地転がし」
モンゴル国での土地問題と環境問題

【著者紹介】萩原 守 (はぎはらまもる)
1957年兵庫県生まれ。大阪大学文学部卒業。同大学院博士後期課程単位取得退学(その間、1983-1985年にモンゴル国立大学へ国費留学)。大阪大学助手、神戸商船大学助教授、神戸大学国際文化学部教授等を経て、2007年から神戸大学大学院国際文化学研究科教授。東洋学。博士(文学)。主要著作に『清代モンゴルの裁判と裁判文書』(創文社、2006年)、『中国法制史-基本史料の研究-』(共著、滋賀秀三編、東京大学出版会、1993年)。

書店さまへ▼ご注文は、地方・小出版流通センター(FAX 03-6265-9182)までお願いいたします。

注文書	
貴店名(帖合)	
注文数	
流通センター 取扱品	

地方小出版

流通センター
取扱品

書名 体感するモンゴル現代史
萩原 守著

発行 南船北馬舎
TEL078-924-2632 FAX078-924-8478

定価 3360 円
本体 3200 円
消費税 5%



9784931246256

ISBN978-4-931246-25-6
C0022 ¥3200E
定価：本体3200円(税別)